

留学先大学：ピッツバーグ大学
 留学先での所属学部・研究科：Arts and Science
 留学先での在籍身分：学部学生（学士課程）
 留学期間：2014年1月～2014年12月
 神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
 学年（出発時）：3
 本報告書記入日：2014年5月16日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

ピッツバーグ便利帳というwebページ。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮、アパート）の名前：Bouquet Garden
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）ルームメイト4人
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：徒歩5分、
- ・住居の周りの環境はどうか。：

キャンパス内になるので図書館まで2分、学部によってはビルの隣に教室があったりする。キャンパスの周りはレストランやバーが多いのでたまに利用していた。とても安全な環境。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的には自炊。たまに外食にいたりしていた。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前に留学生科に寮がいいと伝えると、留学生には用意していないから自分で探せといわれたが、何度もお願いすると申請方法を教えてくれた。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	AMERICAN POLITICS	George Krause	2	3	148	テストは選択式だが教科書だけでなく講義にも集中していないと解けない問題がある。毎週40~60ページくらいのリーディング。
2	RELIGION AND POLITICS	Kristen Tobey	2	3	38	一学期で6冊も教科書がある。講義は生徒参加型でプレゼンテーションなどもあった。
3	AMERICAN FOREIGN	Nathan Firestone	1	3	31	一学期に3回work shopがあり、あとはオンラインのstudy guideに従って教科書やassignmentsをこなす。テストはshort paragraphで答えるのだが、設問が多く与えられた
4	Turkish2	Nur Lider	2	4	15	週に1回宿題が出る。教科書の予習を授業前におく。一学期間に5回テストがあるが、範囲は狭いので心配は要らない。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

一年生向けの授業だと200人規模のクラス、他は30人規模になり積極的な授業参加が求められる。成績が心配なときは教授のもとを訪れ相談していたが、教科書を読む、宿題をしっかりとこなす努力をしていれば大丈夫。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床	起床	起床	起床			起床
9:00							
10:00	勉強		勉強	American Politics			
11:00					勉強	勉強	
12:00		Religion & Politics		Religion & Politics			
13:00							
14:00	American Politics		American Politics	勉強	友だちと 遊ぶ	友だち遊 ぶ	勉強
15:00		勉強					
16:00	勉強			Turkish 2			
17:00			勉強				
18:00		Turkish 2					
19:00		勉強					
20:00							
21:00				Party	Party	Party	
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

留学して一番切実に感じることは、渡航前の準備期間の重要性です。留学生生活をいかに充実させることができるかどうかはこの期間にかかっていると思います。留学前にTOEFLを受験すると思いますが、要件のスコアに達したからといって満足してはいけません。学校が始まると、全てが英語の環境に放り込まれます。講義では教授の話しを理解しメモをとる。毎週与えられる課題をこなす。（私の場合、週に130~180ページのリーディングが与えられた）ほとんどの留学生が最初は困難を感じると思います。ここで少しでも留学期間中に吸収することを増やすためには、留学前に自分の英語を出来るだけ鍛えておくことだと思います。私も、留学前に神戸大学で英語で行われる講義をとったり、教授に協力してもらいレポートを英語で書くなど、自分の専攻を英語で学ぶことに慣れようと思いました。それでも、アメリカで大学生活が始まると、教授の言っていることが聞き取れなかったり、リーディングが追い付かなかったり、現地の学生との会話がうまく出来なかったりということがありました。こういうことは留学前に英語を鍛えるほど、少なくなると思います。渡航後、少しでも現地学生との差を無くすためには、留学前に日本で出来ることをする努力をすることだと思います。

留学生活で何をしたいかは人によって違うと思います。勉強だけでなく、課外活動や週末友だちと遊びに行くことも大事だと思います。私の場合、平日は学校にこもって勉強し、週末は友だちと遊びにいったりリフレッシュしていました。バランスとメリハリが大切です。

現在、留学して5ヶ月が経ちますが、今までで一番大変だった時期は、到着してからの一ヶ月間です。全く知らない土地に母語ではない言語で生活しなくてはなりません。そこで現地生活に早く慣れる方法が、人に頼ることです。私の場合、現地の学校に通う日本人学生や私と同じような留学生を探して、履修登録の仕方や、キャンパス近くのおいしいレストランまで現地の生活について色んなことを教えてもらいました。留学してまで日本人とつるむのが嫌だと言う人もいますが、精神的に辛いときなど、近くに共感してくれる日本人がいると助かります。